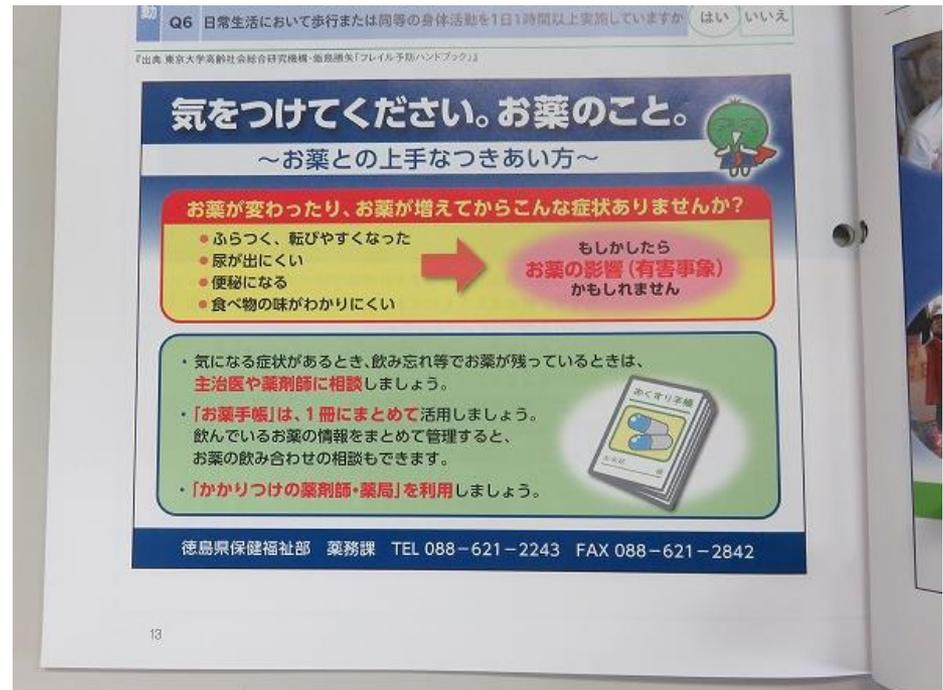


◆ 情報誌「いのち輝く」への広告掲載

情報誌「いのち輝く」(2020春第93号, 2020年1月15日発刊)に医薬品の適正使用を県民に啓発する内容の広告を掲載しました。



◆ 徳島新聞への広告掲載

徳島新聞朝刊(2020年2月7日)に医薬品の適正使用を県民に啓発する内容の広告を掲載しました。

姉妹店 焼肉の加茂八 (東みよし町) TEL.(0883) 82-3636

【お問

気をつけてください。
お薬のこと。
～お薬との上手なつきあい方～

お薬が変わったり、お薬が増えてから
こんな症状ありませんか？

ふらつく、転びやすくなった

尿が出にくい 便秘になる 味を感じにくい

もしか
お薬の影響
(有害事象) かもしれません

気になる症状があるとき、飲み忘れ等でお薬が残って
いるときは、主治医や薬剤師に相談しましょう。

「お薬手帳」は、1冊にまとめて活用しましょう。
飲んでいるお薬の情報をまとめて管理すると、お薬
の飲み合わせの相談もできます。

「かかりつけの薬剤師・薬局」を
利用しましょう。

徳島県保健福祉部 薬務課
TEL.088-621-2243

●日時
●場所

第1
第2

2020年2月7日 (金) 徳島新聞朝刊 28面

◆ 啓発用パンフレットの作成・配布

医薬品の適正使用やかかりつけ薬剤師・薬局の利用を促す内容のパンフレットを作成し、県民に向け配布します。

気をつけてください。お薬のこと
 ～お薬との上手なつきあい方～

お薬が変わったり、お薬が増えてからこんな症状ありませんか？

- ふらつく、転びやすくなった
- 尿が出にくい
- 便秘になる
- 食べ物の味がわかりにくい

もしかしら
お薬の影響(有害事象)が
おこりません

・気になる症状があるときは、必ず主治医や薬剤師に相談しましょう。
 ・「お薬手帳」は、1冊にまとめて活用しましょう。飲んでいるお薬の情報をまとめて管理すると、お薬の飲み合わせの相談もできます。

こんなときどうする？ その1
飲み忘れたり、飲みにくいお薬が家にたまっている

★残っているお薬を全て、かかりつけの薬局へ持っていきましょう★

◎薬局が医師と相談して対応できること (※薬の種類によりできない場合もあります)

- ・飲みやすい形の薬に変更(大きい錠剤から粉薬や液剤へ)
- ・飲み忘れないよう、一酸化したり、飲む回数や量が少なくなるお薬へ変更
- ・余っているお薬を使えるよう次回に出すお薬の数を調整(処方日数の調整)

×飲み忘れたお薬を2回分まとめて飲まない

こんなときどうする？ その2
お薬手帳を複数持っている

★お薬手帳は1冊にまとめましょう★

◎お薬手帳の活用方法

- ・使っている全てのお薬を医師や薬剤師が把握できるようにすることが必要
- ・ドラッグストア等で購入したお薬や健康食品の情報も記入

◆あなたの命と健康をまもるため、災害時は必ず持ち出しましょう

徳島県

すくすく知ろう! お薬の正しい使い方

ゲームで楽しくお薬を学ぼう **スタート**

お薬手帳を1冊にまとめた 1つ進む

薬局へお薬手帳を持っていくのを忘れた 3つ戻る

医師から処方されたお薬を人にあげた(法令違反になる場合も) スタートに戻る

薬局や病院でジェネリック医薬品を希望した ★のマスへ進む

薬を飲んでいつもと違う症状が出たので、医師や薬剤師に伝えた 2つ進む

飲み残した薬を薬局へ持っていった ★のマスへ進む

かかりつけの薬剤師にお薬の相談をした 1つ進む

災害の際の避難用品リストに、お薬手帳を加えた 1つ進む

これ見て

お薬を飲みきるよう言われたが、症状が軽くなったので途中でやめた 3つ戻る

お薬が変わってから、ふらついて転びやすくなった 1回休み

複数の病院でもらったお薬をかかりつけ薬局へ持っていった 3つ進む

通信販売で買った健康食品の名前をお薬手帳に記入した 2つ進む

飲み残したお薬を家にためている 5つ戻る

薬を飲み忘れたので、次の時にまとめて2回分飲んだ スタートに戻る

お薬をジュースやお酒と一緒に飲んだ 3つ戻る

★薬の適正使用につながって「お薬代」がお得になった

ゴール!!
 これからもお薬は正しく使ってね

◆ お薬相談バッグの作成・配布

医師や薬剤師に、服用薬や残薬の相談を促すためのバッグを作成し、県民に向け配布します。



※イメージ図